

ふなばし 市議会だより

No. 184

平成18年(2006年)12月議会

発行 船橋市議会

編集 広報編集委員会

〒273-8501

船橋市湊町2-10-25

電話 047(436)3012

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



新しい年を迎えて(船橋大神宮での初詣)

市政に係る重要な計画の議決等に関する条例を可決



年頭にあたり
市議会議長 安藤 信宏

新年、明けましておめでとうございます。

「地方議会には、市の計画に対する監視権限は与えられていない」としたら……市民の皆様としては、「何のための地方議会?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

市民感覚からすれば、市議会として当たり前の「市の計画への監視機能」という役割。それを制度化した条例が、全国で初めて、船橋市議会ですべてスタートしました。

超党派の議員が、1年以上の議論を重ね、可決されたこの「市政に係る重要な計画の議決等に関する条例」を積極活用することで、市民の皆様から身近に感じていただける市議会へ向け、全力を注ぐ覚悟であります。

本年が、皆様にとり良い年となりますよう、お祈り申し上げます。

平成18年第4回定例会は、11月27日から12月18日まで22日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から8議案が提出され、一般会計補正予算や職員の給与に関する条例の一部改正条例など全議案を可決しました。

また、議員提出議案として、市政に係る重要な計画の策定について議会の議決または議会への報告を義務付ける「市政に係る重要な計画の議決等に関する条例」を可決しました。

主な記事

議案の概要	P 2
各委員会報告、請願陳情議決結果	P 3
各党派新年の抱負	P 4～P 5
一般質問	P 6～P 8

議案の概要

その名称及び位置を定めるもの。
名称 市営前原団地
位置 前原西6丁目1番
35号

平成18年度補正予算

一般会計補正予算〔第1号〕
本庁舎整備費
1790万円増額
税収入返還金
7億1630万円増額
過誤納金還付加算金
104万円増額
児童措置諸経費
800万円増額
後期高齢者医療広域連合設立準備委員会負担金
323万8千円増額
後期高齢者医療広域連合負担金

与水準を維持するため、所要の改正を行うもの。

国、県及び近隣市等との退職手当の均衡を図るともに適正な支給水準を維持するため、退職手当の支給割合の見直し及び勤続年数に中立的な形で役職別の貢献度を勘案した調整額を設ける等の所要の改正を行うもの。

〔第4号〕

都市計画道路用地購入費
1億2331万7千円増額
病院事業会計補正予算〔第2号〕
企業債
6600万円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

499万3千円増額

その他

千葉県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について
〔第8号〕
高齢者の医療の確保に関する法律の規定により、平成20年4月から新たに設置される千葉県後期高齢者医療広域連合の規約について協議するもの。

議員提出議案

市政に係る重要な計画の議決等に関する条例
〔発議案第4号〕
市政に係る重要な計画の策定等について議会の議決又は議会への報告を義務付けることにより、議会と市長その他の執行機関がともに市民に対する責任を担いながら、市民の視点に立った透明性の高い市政を推進することを目的とし、制定するもの。

可決された意見書

◇子供の権利保障に関する意見書
◇子育て専従者控除の創設に関する意見書



議案質疑

たが、この間に立ち入り調査を行っていなかったのか。
答 現場確認をしたが過誤納になった。今後は、今回の事例を十分反省して意識と資質の向上に努めたい。
第2号について
問 緩和ケア病棟は、市直営で行うべきと考えるがどうか。
答 医療センターの一部として直営で運営する。

民主党 千葉 満

第1号について
問 固定資産税の過誤納により返還金約7億円が生じ

市民社会ネット 横 啓己子

第1号について
問 他市では乳幼児医療費の自己負担無料化やさらなる助成対象年齢の拡大がされているが、本市の今後は、今回の拡大も厳しい状況

新 風 神田 廣栄

第1号について
問 冷凍倉庫の経年減点補正率を一般倉庫で適用し、返還金が生じた。税法上の5年と市の要領による法定外返還金の6年をあわせて、

市清会 興松 勲

自由民主党、緑清会、市清会を代表して市清会が質疑を行いました。
第1号について
問 冷凍倉庫の税の還付に

日本共産党 高橋 忠

第1号について
問 10月の政策審議会で、乳幼児医療費助成を、19年4月から小学校入学前まで拡大することに私たちが歓迎するが、事前に知る

問 市は直接の運営主体でなく、広域連合が設立後は実態を示しながら、積極的に関与していきたい。

無所属 池沢 敏夫

第1号について
問 都市計画道路3・4・25号線(宮本古和釜町線)の整備は25年かかっても終わっていない。いつまでに完成させるつもりか。

答 重要な幹線道路であり、一日も早い整備の必要がある。引き続き地権者のご理解が得られるよう努力する。

公明党 鈴木 郁夫

第1号について
問 乳幼児医療費の助成の拡大は喜びの声が届いている。県外の医療機関も現物給付を行うことはできるか。

答 県外の関係団体と調整する必要があるが、千葉県でもそのような動きはないし、市単独で行うことは困難。財源調整基金が60億円を割り込むが、夕張市の例

に予算が伴うので、公表時期を総合的に判断している。第8号について
問 後期高齢者医療制度は75歳以上の人を別立て保険にするもので、医療の差別化につながる。保険料滞納者に対し、資格証明書を発行する事態になった時には、市は市民の命を守る立場に立つべきではないか。

答 市は直接の運営主体でなく、広域連合が設立後は実態を示しながら、積極的に関与していきたい。

第8号について

問 高齢者を前期や後期と分けることは疑問である。この制度ができる背景及び運営主体を決定した経緯を伺う。

答 75歳以上の高齢者の心身の特性や生活実態等に着眼して、新たな独立した制度として立ち上げるものである。運営主体についてはさまざまな議論があったが、最終的に広域連合が運営することとなった。

のようにならないか。
答 地方債残高は適正な水準にあり、夕張市のような心配は全くないが、歳入が伸びないと予測されるので、厳しい財政運営が強いられると考える。

第7号について
問 単身高齢者の民間住宅確保が難しいと聞いている。市営住宅の高齢者に対する割合をふやす計画はあるか。

答 今後の供給計画の中で高齢者世帯の需要実態に即した供給に努める。

各委員会の報告

総務委員会

議案について

第3号は、「住民福祉の向上を目指す自治体職員の公務労働を阻害する成果主義を前提にしているものであり、反対」市民に対し、公務員給与の信頼性を高めるものと考え、賛成「査定昇給については、公平公正な立場に立つて当たるよう要望し、賛成」等の討論があった。

第4号は、「職員の不公平感を生み、意欲の低下やチームワークを壊すような格差が拡大するので、反対」

第5号は、「組織の機能低下にならないようさらなる工夫、改善を求めて、賛成」中期勤続者を引き上げ、長期勤続者を引き下げることで平準化されるが、人件費の抑制に資するので、賛成

第6号は、「障害等級表がなくなっているが、改正条例では何に基づくのか」等の質疑があり、「労災保険法や地方公務員災害保障法の障害等級表どおりに運用されることを要望し、賛成」との討論があった。

第7号は、「環境団体とその後接はとっているのか、船橋馬込霊園周辺地区環境美化推進協議会での問題解決への取り組みはどうだったか等の質疑があり、協議会の中で、環境団体とも議論して意見をまとめていくべき」地域住民第一で、道路の計画を立てる等、市として3月までに具体的な結論を「ルートの確定を早急に進めるべき」等の意見があり、採決の結果、賛成多数で継続審査となった。

第8号は、「健康福祉委員会」

第9号は、「健康福祉委員会」

第10号は、「健康福祉委員会」

第11号は、「健康福祉委員会」

健康福祉委員会

議案について

第8号は、「健康福祉委員会」

第9号は、「健康福祉委員会」

第10号は、「健康福祉委員会」

第11号は、「健康福祉委員会」

第12号は、「健康福祉委員会」

第13号は、「健康福祉委員会」

第14号は、「健康福祉委員会」

第15号は、「健康福祉委員会」

第16号は、「健康福祉委員会」

建設委員会

議案について

第17号は、「建設委員会」

第18号は、「建設委員会」

第19号は、「建設委員会」

第20号は、「建設委員会」

第21号は、「建設委員会」

第22号は、「建設委員会」

第23号は、「建設委員会」

第24号は、「建設委員会」

第25号は、「建設委員会」

市民環境経済委員会

陳情について

第41号は、「市民環境経済委員会」

第42号は、「市民環境経済委員会」

第43号は、「市民環境経済委員会」

第44号は、「市民環境経済委員会」

第45号は、「市民環境経済委員会」

第46号は、「市民環境経済委員会」

第47号は、「市民環境経済委員会」

第48号は、「市民環境経済委員会」

第49号は、「市民環境経済委員会」

文教委員会

陳情について

第61号は、「文教委員会」

第62号は、「文教委員会」

第63号は、「文教委員会」

第64号は、「文教委員会」

第65号は、「文教委員会」

第66号は、「文教委員会」

第67号は、「文教委員会」

第68号は、「文教委員会」

第69号は、「文教委員会」

予算特別委員会

議案について

第1号は、「予算特別委員会」

第2号は、「予算特別委員会」

第3号は、「予算特別委員会」

第4号は、「予算特別委員会」

第5号は、「予算特別委員会」

第6号は、「予算特別委員会」

第7号は、「予算特別委員会」

決算特別委員会

議案について

第3号は、「決算特別委員会」

第4号は、「決算特別委員会」

第5号は、「決算特別委員会」

第6号は、「決算特別委員会」

第7号は、「決算特別委員会」

第8号は、「決算特別委員会」

第9号は、「決算特別委員会」

付託委員会	受理番号	件名	議決結果
健康福祉	請願第5号	障害者の福祉・医療サービス利用の定率(応益)負担中止等の意見書提出に関する請願	不採択
	陳情第52号	リハビリの日数制限撤廃の意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第53号	介護ベッド利用の助成に関する陳情	不採択
	陳情第54号	介護ベッド利用制限見直しの意見書提出に関する陳情	不採択
市民環境経済	陳情第41号	馬込霊園へのアクセス道路建設に関する陳情(継続審査事件)	継続審査
建設	陳情第55号	金杉谷津田と斜面緑地の自然環境保全・活用に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第56号	東武鉄道の踏切拡幅(新船橋一塚田間)に関する陳情	不採択(全会一致)
	陳情第58号	(仮称)藤和北習志野計画マンション建設(西習志野3丁目)の指導に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第59号	中高層建物の建築に対する行政指導強化に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第47号	習志野自衛隊近接地への高層建物建築中止に関する陳情(継続審査事件)	継続審査
	陳情第25号	飯山満調整池の移管・自然環境保存に関する陳情(継続審査事件)	継続審査
	陳情第47号	寺院・墓地等の建築計画撤回(坪井町)に関する陳情(継続審査事件)	継続審査
文教	陳情第60号	行田地区の小学校へ特殊学級開設に関する陳情	採択送付(全会一致)
	陳情第61号	県立高校の定員確保の意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第62号	教育基本法改正案の慎重審議の意見書提出に関する陳情	不採択

※各会派の質疑・討論等の詳細は、議会のホームページや議会事務局及び出張所、図書館、公民館に配布の会議録をご覧ください。
 なお、請願陳情についての委員会記録は、議会のホームページまたは、議会事務局をご覧ください。

各会派新年の抱負

緑清会



早川 文雄
大矢 敏子
七戸 俊治
瀬山 孝一
浅野 正明
木村 哲也

市民の皆様には
健やかに新春を迎えられましたこと
心よりお慶び申し上げます。

昨年は事故、事件が氾濫していた一年でありました。「社会、自然、教育環境」と問題は山積しております。このような社会情勢の下、船橋市は、市制施行七〇周年を迎える年になりました。これから先も発展し続ける事はもとより、市民の皆様が安心して暮らせる住んでいたい船橋を目指し全力で取り組んで参ります。市民の皆様にとって、輝かしい年になります事を祈念いたしまして新春のご挨拶とさせていただきます。

新風



斉藤 守
鈴木 和美
小石 洋
石渡 憲治
大沢 久
谷口 昭夫
野田 剛彦
神田 廣栄

清潔で爽やかな、新しい風が、いま、船橋市議会に吹いています。会派「新風」8人の議員は、

環境・経済・医療・福祉・教育・文化・子育て・道路・建設

各分野で一騎当千のスペシャリスト達。市民の皆様からの信頼を受け、徹底討論しながら、変えるべきは変える。次代を見すえて提言し続けます。「新風」に皆様のご支援をお願いします。

自由民主党



中村 実
和田 善行
川井 洋基
佐原 正幸
藤尾 真子
安藤 信宏
佐々木克敏
門田 正則

「議員定数の大幅削減を前提に、横浜市に次ぐ関東第二の政令市」

大規模な近隣合併による、実現の可能性と道筋を、議会内外で研究中です。

政令指定都市で、市民サービスの財源を確保し、国と対等に、市独自の政策論争ができることで、皆様の、生活の安全と安心を、より力強く！

市清会



滝口 宏
興松 勲
田久保好晴
佐藤新三郎

新年あけましておめでとうございます。昨年は、幼児虐待、幼児殺傷、いじめによる自殺など常識では考えられない事件が大きな社会問題となり、日常生活の安全が脅かされ始めている中、新年を迎えました。今こそ、それぞれの立場で現実を直視し、市と市民が危機感を持って「協働のまちづくり」を目指して行かなければならないと思います。私たち市議会4名は、藤代市政を推進し「船橋のまちづくり」に全力を投じたいと、決意を新たにしております。



公明党



角田 秀穂
齋藤 忠
高木 明
村田 一郎
松崎 裕次
上林謙二郎
石崎 幸雄
倍田 賢司
鈴木 郁夫

市民の皆様、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も皆様にとりまして希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

公明党は、昨年、国政進出50年、連立参加7年の歴史と経験を踏まえ、「新しい公明党」として出発いたしました。そこで永遠の原点である、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立党の精神を再確認し、自己研鑽に励み、どこまでも誠実、清潔、正義の党として、常に民衆の側に立つて行動してまいりました。

今の政治を見渡すと、観念論やパフォーマンスが目立ち、「現場」のにおいがしないといわれています。公明党は、現場の声を真剣に受け止め、現場からの改革を推進している、「生活現場主義」の政党です。

この現場第一主義で、市民の皆様のお一人おひとりの声を、9名の市議団が一致団結し、本市が、心豊かに安心、安全に暮らしていける街づくりのために市民の皆様と協働して築いてまいります。

本年も皆様の温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

日本共産党



石川 敏宏
岩井 友子
高橋 忠
関根 和子
佐藤 重雄
金沢 和子
草野 高德
伊藤 昭博

新年おめでとうございます

乳幼児医療費助成が小学校入学前まで拡大
市民の皆さんと日本共産党議員団との粘り強い運動の中で4月から実施されることになりました。引き続き小中学生まで引き上げるよう取り組んでゆきます。

談合・賄賂、政務調査費の不正使用をきびしく監視
議会のチェック機能が問われています。日本共産党は入札の改革を提案するとともに、議員の政務調査費は領収書添付の義務づけと公開を提案し、実現してきました。引き続き行政をきびしくチェックしてゆきます。

庶民増税など暮らしを脅かす政治にストップを
昨年の住民税の大増税には市民から怒りの問い合わせが市役所に殺到しました。自民・公明政権の大企業優遇、庶民いじめの政治の結果です。電動ベッドを取り上げ、障害者への大負担など弱者いじめはひどすぎます。日本共産党は、空前の利益を上げている大企業に心分の負担を求め、市民のくらしを守ります。



民主党



斉藤 誠
千葉 満
小森 雅子

自治権拡大のため政令指定都市をめざします。

保育所の増設・待機児童解消をめざします。

歩道の拡幅・交通渋滞解消をめざします。

無所属



池沢 敏夫

市民社会ネット



浦田 秀夫
さとうもも
榎 啓子

迎春
ストップ「格差社会」！
「いじめ」の社会構造打破を！
中央政府の言いなりでなく、「いのちを守る」自治体を！
生きる力を分かち合える地域づくりが必要です。
私たち「市民社会ネット」は、互いを尊重し、違いを認めて連帯しながら、市民の目線で行動します。
各人のホームページもご覧ください。



いっしょがききたい 一般質問

公明党

角田 秀穂

障害者への支援

問 市が行う地域支援事業のうち、日中一時支援事業は、利用したくても事業所がいっぱい断られるという声を聞くが、どのように把握しているのか。
答 今回、居宅介護を行う事業者も実施できるよう拡

石崎 幸雄

道路台帳と道路維持管理

問 将来へ向け、行動計画

等を策定し、指定管理者制度を取り入れた路線ごとのトータル管理の研究や、清掃ボランティア活動等の地域住民参加型による道路管理の仕組みづくりを提案するが所見を伺う。

答 修繕や改良工事等を路線別に台帳化し、あわせて補修記録を作成し、適正な管理に努める。また、工事情報等有益なデータを収集し延命化等に努める。指定管理者制度や住民参加型の管理は、今後研究していく。

齋藤 忠

青色灯防犯パトカー

問 防犯パトカーやスクー
ルガードの施策が一定の効果をあげ犯罪が減少傾向に



地域での青色灯の普及を

ある。青色には、人の心を冷静にする効果があるといわれている。今後、NPOや地域自治会等で青色回転灯を装備した車両の普及啓発をすべきでは。

上林 謙二郎
子どもの安全

問 青色灯の設置について駐輪場等の公共施設への実験的取り組みをすべきでは。
答 先進市等の実績等を調査した中で、導入を検討していきたい。

問 人の命を大切にすると
いう社会規範をどのように
確立すればよいのか、本市
の対策を市長に伺う。

答 小さな頃から命や自然の大切さを教え「弱い者いじめをしない」などといった人間教育が大切で、手本となる大人も今一度思いをはせることが大切と考える。これらを進める機会が家庭、学校、地域、生涯学習の場

松寄 裕次

来年度の道路整備方針

問 歩行空間確保、安全性
の向上のため、予算の中で
通園通学路整備費及び歩道
整備費を増額し、取り組む
べきではないか。
答 歩車分離は、予算や用地買収等の問題から事業が進まない状況にあり、順次路面のカラー舗装化を進め

高木 明

法典公園に照明を

問 施設の入り口から、駐
車場までの通路が暗い。照
明灯の設置を考えるべきで
はないか。
答 今後、関係部署と協議
していく。
問 国道14号線から原木イ
ンターへ向かい消防署を過
ぎた、ファミリーレストラ
ンの交差点の自動車デパー
ラー前の歩道の買収はどの
ようになっているのか。
答 地権者の協力をいただ
き平成18年10月3日に借地
契約を締結した。歩道の整
備は10月末に完了している。

日本共産党

石川 敏宏

コミュニティー道路整備

問 旧ふなしん高根台支店
の向かい側の道路は、進入
禁止の道路標識を無視し抜
け道として通過する車両が
多い。地元町会と協議しな
がら歩行者の安全対策をと
る必要があると考えるが、
どう対応するか。
答 高根台4丁目の方々の
合意形成が得られるよう、
方策について検討する。

住宅政策

問 高根台団地の余剰地につ
いては、市営住宅として
活用すべきだが考えを伺う。

高橋 忠

三山8丁目の
防衛庁官舎跡地

問 跡地を買い上げて憩の
場緑地とするよう求める。
答 防衛庁より千葉財務事
務所へ所管替えされた時点
で払い下げの協議をした。
問 10月1日から公民館の
使用料と時間帯が変わり、
市民から不満が多くある。
利用区分をもとに戻すべき
ではないか。
答 利用区分の変更は、活



県立高校通学風景

岩井 友子

県立高校再編計画

問 中学3年生の生徒数が
増えるのに市内県立高校を
減らすという計画は矛盾し
ている。子どもたちの教育
に責任を持った検証がされ

草野 高德

監視社会を危惧する

問 犯罪のないまちづくり

たのか。
答 県立高校を一学年8学
級まで拡大すると600人
の生徒の受け入れが可能で
ある。
問 ピーク時には669人
生徒が増える。今年も試験
に落ちて公立に入学できな
い生徒がいた。保護者の負
担は大変である。どのよう
な教育的配慮をしているか。
答 各中学校の進路指導
は、本人の意欲と学力との
適性、保護者の願い等をも
とに話し合っている。必ず
しも全員が希望どおりに入
学できるとは限らないと考
える。

関根 和子

開発行為の規制

問 条例について、警察主導で
条例づくりがされている。
監視カメラの設置など監視
社会化が進む中で、行き詰
まる社会がどんどん進んで
いると考える。警察監視社
会を作らないために、この
条例案の撤回を求めるが見
解を伺う。
答 まちをみずから守ろう
という町会自治会の姿勢で
防犯パトロール隊が大きく
なってきた。市民防犯課を
設置以降船舶の犯罪は県平
均を越える勢いで減ってい
る。県の生活安全条例を模
範とし、市民の合意を得た
上で進めているので、ご理
解いただきたい。

民主党

小森 雅子

議員による不当要求行為

問 船橋市不当要求行為等
の防止に対する対策要領は
議員による不当要求行為も
対象としているのか。
答 該当する行為があれば
議員も対象となる。

斉藤 誠

商店街の活性化に
駐車場の設置を

問 本町商店街通り沿いを
中心に、発給券方式の駐車
場増設の考えを伺いたい。
答 有効と考えるが、商工
会議所等で調査を実施して
おり、活性化の一助となる
駐車場問題に取り組み所存。
問 後見人制度のPRを



充実した子育て支援を

子育て支援策の事業評価

問 子育て支援策の評価は
どのように行われているか。
答 数値目標の達成状況だ
けではなく、質的な評価を

問 任意後見の普及促進に
対する施策の展開と行政書
士会等との連携は継続され
ているのか、見解を伺う。
答 任意後見契約の締結に
は法的手続きが必要であり、
専門家である行政書士会等
と連携を図りながら、利用
促進に向け施策を講じたい。

緑清会

木村 哲也

青少年事業の支援を

問 スポーツは青少年の健全育成につながるかと考えているが、本市はグラウンドが不足している。新たな設置は難しいため、学校に照明設備や防球ネットを設置し利用できるようにするべきでは。

答 ナイター照明は中学校9校に設置したが、利用者側と近隣住民との温度差もありその後の設置は難しい。防球ネットの設置は小学校では部活動に野球競技がないことから行っていないが、今後、積極的な学校開放を目指しており、地域の状況をみて協議・検討していく。

いじめ対策

問 保護者や先生も子どもから相談を受けた場合どう対応したらよいのか悩んでしまうことがある。対応マニュアルが必要ではないか。

答 保護者には、教職員に相談してほしい旨を呼びかけ、学校では組織的に取り組む校内体制の整備に努めている。いじめ早期発見確認マニュアルを各学校に配付しているが、様々なケースがあり保護者向け対応マニュアルは準備していない。

障害者の自立について

問 福祉計画などに精神障害者の社会復帰、自立、社会参加への促進等をうたっているが、就労は厳しく、真の社会自立は難しい。対応策を伺う。

答 雇用促進奨励金等の交付により雇用機会の拡大を図っている。国や県の関係機関と連携し、情報提供等に努め、就労移行支援、就業継続支援等の事業の充実・拡大を図っていく。

大矢 敏子

海老川調整池整備計画

問 県事業ではあるが本市の安全のための事業である。今年度の暫定工事の進捗状況と今後の事業計画目標、雨量の対応ミリ数は。

答 暫定調節池の工事により、富士見橋から上流の海老川では18年度中に現在の時間降雨量30ミリ対応から35ミリ対応となる。今後、時間降雨量50ミリ対応とした事業計画目標の28年度完成を目途に進められている。



暫定掘削中の海老川調整池

防犯について

問 防犯への意識が高まり、犯罪件数の減少も聞くが、子どもや地域の安全に目を配ることがまだまだ欠かれない。ひやりハッと防犯情報の配信当初と今日で、配信件数、受理件数、内容は

答 平成17年10月から98件を配信。声かけ、露出、ワイセツ行為が上位でその傾向はほとんど変わっていない。受理件数はここ2、3か月は減少しており、地域防犯活動による効果と考える。

学校給食について

問 給食費の未納が質や量の低下を招いているなどユースで聞く。食の安全や環境が保たれるよう願う。本市の未納の現状と対策は。

答 16年度分で17年度末34名。17年度分で現在61名。督促状、電話、家庭訪問等で回収に努めている。意識的に支払わないという滞納理由が生じてくれば、徴収方法等を研究していく。

無所属



池沢 敏夫

歩道占拠の取締り強化を

問 JR船橋駅周辺の屋台・放置自転車対策を伺う。

答 警察とも連携し、街頭指導員を配置するなど対処。

官製談合の温床を断つ

問 運輸管理委託契約の入札を担当課でなく、契約課で一本化するべきでは。

答 各課で郵便による指名競争入札を導入し、透明性・競争性を高めている。

市清会

佐藤 新三郎

船橋アリーナ(総合体育館)の管理運営を問う

問 平成6年にオープンした総合体育館の、ラグビー競技を目的としたグラウンドは、当初の使用目的から大きく変わり、今や駐車場と広場になっている。運営管理費に3億円も助成して

いるが、今後の位置付けは。総合体育館第2駐車場は、開設当時は有料の多目的運動広場と臨時駐車場エリアだったが、平成10年に条例改正をして第2駐車場となり、今後も使用しないときは、地域の皆様にグラウンドゴルフなどの軽スポーツの場として開放したい。

児童・生徒を犯罪から守る不審者情報は速やかに

問 保健体育課児童生徒防犯対策室が10月現在でまと

めた不審者情報累計について、①市民への呼びかけ、協力の方法。②ひやりハッと発生時の市民防犯課との連携。③3月に要望した通学路の見直し結果を伺う。

答 ①広報ふなばしや児童生徒防犯対策室のホームページに掲載し、スクールガイド活動への参加をお願いする。②発生場所周辺を「まもる号」「みはる号」で重点的に巡回パトロールを行い、市民防犯課と連携した防犯活動に努める。③複

数登下校の呼びかけ、人通りが多く明るい道路を通るよう指導し、定期的な通学路の点検に努めている。

持ち続けたい地域の自然風景を指定景観に

問 景観法が平成17年施行となり、中核市は自動的に景観行政団体となる。本市の条例制定や基本計画等への取り組みを伺いたい。

答 市では、景観行政を進める場として景観計画の策定を目指しており、今年度



大穴中学校・海老川公民館周辺の風景

新風

谷口 昭夫

全国都市緑化フェアの開催

問 来年10月にアンデルセン公園で開催されるが、周辺道路の混雑への対応策は。

答 臨時駐車場の確保や、最寄り駅からのシャトルバスの運行を考えている。運行ルートは多方面を検討したが、経費の面により、北習志野駅から船橋日大前駅を経由しアンデルセン公園北ゲートまでの一路線を行きさせる。

究し、学校相互の連携等多面的な視点からの支援方法の工夫・整備を進めたい。

問 自殺防止の対応方法は。

答 命の授業や、命を大切にしているキャンペーンを実施している。

斉藤 守

保育園を利用していない家庭に子育て専従者控除を

問 保育園入園児には一人につき年間100万円の税金が運営費として投入されている。税金の恩恵にあずかっていない子育てに専従している人達には、税金の徴収段階で優遇できる子育て専従者控除の導入を国に働きかけるよう求めるがどううか。

問 現状では困難だが、一つの方策として受け止める。

大沢 久

いじめ対策について

問 思いやりの心と、いじめに耐えられる心の育成が

必要ではないか。取り組み状況はどうか。

答 道徳の時間に心に響く授業を行うとともに部活動や職業訓練等を通じて子どもの健全育成に努めている。

問 家庭や学校、地域が一つになって取り組める支援も必要ではないか。

答 いろいろな機会に地域等と呼びかけをする。

とから調査研究をしていく。

問 各団体は練習会場の確保に苦勞している。地元の小児救急医療研究委員会の中で検討を進めたい。

青色パトロールカー増加を

問 市川市では公用車も青色パトロールカーにして子どもの安全を図っている。本市でも導入すべきでは。

答 効果的、効果的な運用を考慮し検討していく。



劇団などの練習施設を

石渡 憲治

文化・芸術・音楽の伝承を

問 市民の多様な文化的要求に対応するため、勤労市民センターの機能向上が必要と考えるがどうか。

答 検討事項も多くあるこ

違法駐車取り締まり強化や飲酒運転の厳罰により、飲食店の多くは客が減って苦しんでいる。中小企業の経営安定、商工振興のため、市は、飲食店組合等が立てた対策への助成金交付など、よりよい方策を考えて、積極的な側面支援が必要と考えるがどうか。

答 組合等の方々の相談を踏まえ、その中で支援について今後対応していく。

小石 洋

教師に期待するものは何か

問 世の中が乱れてきている。これは教育の失敗によるものである。今後、教育について徹底的に議論が必要と感じているが、本市の教師にはどのようなことを期待しているか。

答 教職に対する強い情熱と使命感を持った教師。教育の専門家として確かな力量を持った教師。総合的な人間力を持った教師。後輩を育てることが出来る教師。以上4点を期待している。

鈴木 和美

夜間救急診療について

問 既存施設は老朽化し手

自由民主党

佐原 正幸

政令指定都市を目指す

道州制の議論も高まる中、今後、市民福祉の維持向上のためには、今以上の権限拡大や財源委譲を図る必要がある。その手段として、近隣市と合併して政令市を目指すべきではないか。

地方自治体を取り巻く環境が大きく転換しており、将来について、多方面から検討しなければならぬ。その選択肢の一つとして、近隣市との合併を含む政令指定都市という道も研究している。合併・政令指定都市移行の問題を考える際に、最も重要な事は市民の意思、機運の高まり。広範な市民

の方による論議を活発にし、方向性を見つけていきたい。

川井 洋基

旅券法改正と市民の利便性

旅券法の改正により、市も旅券の発給事務を行える。市が実施できるような県に働きかけるべきでは。

現時点では県からの権限委譲の提示はない。市としては、葛南県民センターでの申請事務の取り扱いを県に強く要請したい。

効利用等も考慮し、料金の還付規定を早急に設置するべきでは。

い先は。50万円、支払い先は作者。

藤尾 真子

貧困層拡大への対策

現在、3940世帯が生活保護受給者と同様が、生活保護から脱却し、一般生活に戻れた世帯数は一年でどの位あるのか。

平成16年度は58世帯、平成17年度は87世帯と増加傾向。これは平成17年度からの就労支援事業を開始した効果と考えている。

門田 正則

公共施設建設の優先順位

次の公民館の建て替えと次の市民センター建設、どちらを優先させるのか。

今日の厳しい財政状況下では、老朽化に伴う、既存の公共施設の整備が優先となる。

お知らせ

視覚・聴覚に障害のある方へ
◎カセットテープによる「声の市議会だより」及び点字による「市議会だより点字版」を発行しています。希望される方は、議会事務局まで連絡してください。
◎聴覚に障害のある方に本会議・委員会を傍聴していただくため、手話通訳者を配置します。傍聴を希望する7日前までに、議会事務局に申請してください。
託児ルームのご案内
◎本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりします。7日前までに議会事務局へ連絡してください。
(1歳児から就学前の幼児が対象です。)

市民社会 ネット

浦田 秀夫

公民館をもっと使いやすく
10月から公民館使用料の有料化と利用時間帯の変更が行われたが、利用しやすくなるなどの触れ込みとは裏腹に、利用者からはかつて利用しづらくなったとの不満が出ている。利用時間帯の見直しや優先予約のあり方、公民館自主事業の利用時間帯の工夫など改善すべきではないか。

時間、空間に無駄がないよう指導していく。



市民の暮らしとごみ行政
本市には多くの外国の方も住んでおり、ごみステーションを使用するには、看板の表記が日本語だけでは不足である。日本語以外の表記も必要ではないか。

横 啓巳子

他自治体の例に学ぶ
現場を見るという経験を積むことで、視察研修への意欲も高まる。近隣市を訪ねることも重要と思うが、いかがか。

他市への視察は、視野拡大や業務に高い効果が得られる。今後とも職員の見学を酌み、積極的にその機会をとらえていくよう、支援していく。

◎次の定例会は2月26日(月)開会の予定です

請願・陳情の受理期限は、2月23日(金)午後5時までです。予定審議日程

月日(曜)	開会時間	主な議事
2月26日(月)	午後1時	開会、市政執行方針及び議案提案説明他
3月6日(火)~9日(金)、12日(月)、13日(火)	午後1時	質疑
15日(木)	未定	常任委員会
16日(金)、19日(月)、20日(火)、22日(木)	未定	予算特別委員会
27日(火)	午後1時	付託事件の審査報告と採決、閉会

「市議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せください。
〒273-8501
船橋市湊町2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikaishomu@city.funabashi.chiba.jp

議案の議決結果

付託委員会	議案番号	件名	各会派の賛否							議決結果		
			自	新	緑	市	公	共	民		し	無
予算特別	議案第1号	平成18年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
	議案第2号	平成18年度船橋市病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
総務	議案第3号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第4号	船橋市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第5号	船橋市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康福祉	議案第8号	千葉県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について	○	○	○	○	○	×	○	×	×	可決
建設	議案第7号	船橋市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議案第4号	船橋市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

○-賛成 ×-反対 (自)自由民主党 (新)新風 (緑)緑清会 (市)市清会 (公)公明党 (共)日本共産党 (民)民主党 (し)市民社会ネット (無)無所属